

# 報社神社祖天神明上

第203号 平成28年1月1日



## 年頭のご挨拶

天祖神社 宮司 齊藤泰之

新年明けましておめでとうございます。また新たな年を皆様と共に迎えられます事、大変嬉しく、また心よりお慶び申し上げます。

さて昨年、上神明天祖神社では二年に一度の神輿連合渡御を無事に遂行することが出来ました。渡御のクライマックスに行われた神輿練りには、厳正寺水止舞保存会の法螺貝が初めて参加下さり、六百九十四年前の東京・埼玉一帯の大飢饉を救われた厳正寺住職・第二世法蜜上人による蛇窪の龍神さまへの「雨乞い祈願」と長雨止めの祈禱に由来する「水止舞」が同時に再現されました。これらは当神社創建の史実にあるもので、この再現により蛇窪村の成り立ちと、神事としての神輿渡御が、より一層ご理解いただけたのではないかと思います。

また今回の渡御は、過去最高の人出を記録いたしました。事故一つなく執り行うことができましたのも、氏子・崇敬者の皆様はもとより、各町会、神輿連合会、関係各位の皆様のご協力の賜物でございます。ここに厚く御礼申し上げます。

さて現在、当社では神社や地域の歴史を後世に残すために社史の編纂を行っております。この事業は氏子総代会々長草柳洋一様の御浄財によるもので、大人から子供まで解りやすく、楽しいものにして欲しいとの御要望を頂いております。それに副うべく由緒は絵本風に、さらに写真を多く掲載することでもなたでも手に取りやすい社史を目指しております。

さらに当社は2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、地域発展の為に取り組んで参ります。その一つである「蛇の街おこし」はお蔭様で多くの方々の御協力を頂き、様々な形で芽が出てきております。今年はその大切な芽をさらに大きく育てて参る所存です。

これら様々な活動が益々の地域活性化に寄与できる事を念願し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 新年所感

天祖神社氏子総代会々長  
草柳 洋 一

平成二十八年(二〇一六年)のお正月を皆様と共につつがなく迎えられますことを感謝いたします。又、日頃は氏子の皆様には神社の行事に何かとご協力いただきまことに、誠に有り難く深く感謝申し上げます。お陰様で神社の参拝者も増加して行事の盛況をいただいで居ります。昨年は神社のタウンマップが評価されて、品川区より支援をいただきました。今年には神社の記念誌が発行される予定です。皆様からの貴重な記念写真もご提供いただき、子供様にも理解できる楽しい記念誌が出来上がると思います。

さて、今年はどうな年になるでしょうか？今年の干支は「丙・申(ひのえ・さる)」です。「丙」は「四方に発散する」、「自制が効かない段階に入った勢いの頂点」とされ、人が恐れるほどの勢いがある年だと云われます。又、「申」は「伸びる」、「稲妻のように激しく伸びる」とされ、新しい勢力が台頭する年だともいわれます。総じて、無理な行動に人々が走りやすく、いろいろな新勢力が台頭する年となりそうです。従って、時代の趨勢をしっかりと見極める重要な年になります。日本は少子高齢化が益々進み、一〇〇歳以上は六万人近くになり、世界最長寿国になりました。又、人口減少は毎年四〇万人近くが消滅しています。生活保護者も急増しています。しかし、どのような時代の中でも私達は進化して来ました。今年もまた新しい工夫をして、良い年にしたいと思っています。皆様のご清祥を祈念いたします。今年も宜しくお願い申し上げます。

# 七五三詣り御芳名

昨年、御祈禱なされたお子様のご芳名を列記し心からご成長をお祈り申し上げます。

- |       |          |       |
|-------|----------|-------|
| 岸部 美雨 | 山岸 明依    | 鈴木 初菜 |
| 林 奈津  | 橋場 咲輝    | 橋場 友花 |
| 伊藤 美穂 | 村松 快     | 秋山のぞみ |
| 庄司 郁斗 | 岩川 真陽    | 川合 潤花 |
| 松本 悟  | 木村 真緒    | 青木 夢優 |
| 齋藤 美緒 | 白井葉菜子    | 星野 莉子 |
| 山崎 真緒 | 下崎 智代    | 羽鳥 友葵 |
| 木田 芽花 | フレディカイリ尚 | 渡部 未蒼 |
| 大場 衣織 | 近藤 亜美    | 築地 倫  |
| 有村 優  | 今城 雄仁    | 深澤百々果 |
| 関根 優輝 | 濱崎こはる    | 関 梨々香 |
| 関 禅翔  | 佐藤 碧花    | 森谷まどか |
| 戸谷 心春 | 飯塚 風     | 中村さくら |
| 石神 和真 | 仲里 昊     | 引地麻莉奈 |
| 佐藤 優凜 | 武藤 千昌    | 浜川明日花 |
| 高柳 綾佑 | 平井 笑     | 細野友莉香 |
| 坂下 実優 | 坂下 知弥    | 今北 陽悠 |
| 蔭山 絃  | 米原 亜柚    | 安富 吏玖 |
| 山中 結空 | 小林 冴羽    | 松原 陽祐 |
| 谷 あかり | 牧野 加歩    | 菅野翔太郎 |
| 飯塚 由明 | 中野 駿兵    | 峯村 康佑 |
| 稲垣 蓮美 |          |       |

# 初宮詣り御芳名 (十一月一日より)

- |          |          |
|----------|----------|
| 田中 結理ちゃん | 岡田 結花ちゃん |
| 矢澤 慶悟くん  | 佐々木陽采ちゃん |
| 山田桃保ちゃん  | 山崎 木葉ちゃん |
| 吉澤 湊くん   | 石島 奏佑くん  |

# 奉祝 新嘗祭

## もちつき大会

昨年十一月二十三日(祝)新嘗祭が斎行されました。現在では、勤労感謝の日として祝日となっておりませんが、昔は新嘗祭といひ新穀を神へ勧め、実りを感じ感謝する行事でした。現在でもその儀式は受け継がれ、天皇陛下を始め全国の神社でも神事が行われております。

その新嘗祭を奉祝して、氏子五町会婦人部・睦会有志の皆様のご協力を頂き、もちつき大会も開催され、当日は大変多くの人で境内が賑わっております。



# 菊花のご奉納

二葉四丁目在住の富田秀雄様、登美子様御夫妻より今年も一年間丹精こめて育て、みごとに開花させた菊の鉢をご奉納下さいました。

七五三詣りの方々が、社殿の前の美しい菊花を背景に記念写真を撮り、ご参拝にいらした方々の目を楽しませていらっしゃいました。

# 平成 28 年の厄年(数え年)

※数え年とは、満年齢に誕生日前には2才、誕生日後には1才を加えた年

	前 厄	本 厄	後 厄
男の厄年 大厄42才	24才 平成5年生 酉(とり)	25才 平成4年生 申(さる)	26才 平成3年生 未(ひつじ)
	41才 昭和51年生 辰(たつ)	42才 昭和50年生 卯(うさぎ)	43才 昭和49年生 寅(とら)
	60才 昭和32年生 酉(とり)	61才 昭和31年生 申(さる)	62才 昭和30年生 未(ひつじ)

	前 厄	本 厄	後 厄
女の厄年 大厄33才	18才 平成11年生 卯(うさぎ)	19才 平成10年生 寅(とら)	20才 平成9年生 丑(うし)
	32才 昭和60年生 丑(うし)	33才 昭和59年生 子(ねずみ)	34才 昭和58年生 亥(いのしし)
	36才 昭和56年生 酉(とり)	37才 昭和55年生 申(さる)	38才 昭和54年生 未(ひつじ)

※近年は、女61歳の還暦も男女共通で厄年とする場合もあります。

## 初詣案内

- 一月一日 午前0時より午前一時半頃まで
- ・御神米(3千所帯分)・御神酒振る舞い
- ・甘酒の振る舞い奉仕 神輿連合会親睦会
- ・古神札お焚き上げ奉仕 荏原消防団第四分団
- 一月一日〜三日 午前十一時より夕方頃まで
- ・御神酒・甘酒・熱燗振る舞い

☆特別出店 《ご当地メニュー》三が日

白蛇すいとんスープカレー、蛇窪けんちん汁  
☆《その他メニュー》三が日

ラーメン、もつ煮、焼き鳥、やきそば、おしるこ等

※すべて無くなり次第終了とさせていただきます。  
皆様のご参拝を心よりお待ちしております。

2016 初詣祈願  
上神明天祖神社

12月30日(水)  
PM 6:00 皇極天照大神 皇行  
(皇行は皇前山(皇山))

1月1日  
御神米(3千所帯分)・御神酒振る舞い  
AM 0:00 一皇祈禱(大みそかPM 1:30迄に社務所へ)  
日酒振る舞い(先着400名)・神輿連合会親睦会  
古神札お焚き上げ奉仕・荏原消防団第四分団  
AM 8:00~10:30 PM 1:00~新年祈禱

1月2日-3日  
御神米(3千所帯分)・御神酒・甘酒・熱燗振る舞い  
AM 9:00~ 新年祈禱

“初詣日帰りバス旅行のご案内”  
日時 H28年1月10日(日)AM8:00出発  
集合 第二京浜中庭駅分一地下 五反田方向AM7:45  
行き先: 大洗磯前神社 正式参拝・常陸神社 自由参拝  
会費 6,500円(交通費・昼食代等)  
締切り:H28年1月5日先着順(会費を添え神社迄)

特別出店  
1日 AM 0時~1時半頃迄  
AM 11時~夕方頃まで  
2・3日 AM 11時~夕方頃まで  
《ご当地メニュー》  
白蛇すいとんスープカレー  
ラーメン、もつ煮、焼き鳥  
やきそば、おしるこ等

お問い合わせ先: 03-3782-1711 品川区二葉4丁目4番12号 <http://www.ryuzo.jp>

## 初午祭の御案内

今年の初午祭は二月六日(土)午前十一時より執り行われます。初午祭は二月の最初の午(うま)の日に行う行事であり、お稻荷様の祭りとして全国的に執り行われています。

お稻荷様は早くから農業神、商業神などの神として信仰されております。この季節は春の農事に先がけて農作を祈願する行事も各地で行われます。

当社では儀式終了後、直会の後、抹茶(呈茶)の接待がございます。お点前は、豊町六丁目表千家 西澤社中の方々によります。

皆様のご参列をお待ち申し上げます。

宮司

## 一月・二月の行事

一月	一月一日	歳旦祭
	十二月十二日	弁天社 初巳祭
	十五日	正月飾りお焚き上げ
二月	三日	子供節分祭
	六日	初午祭
	十一日	紀元祭
	十七日	祈年祭

## 各地区敬老クラブ境内清掃奉仕

十一月十日にご奉仕なされた方々のご芳名

- 二葉四丁目 眞川功四郎様、関谷節子様、
- 二葉三丁目 池田不二江様、有路キヨエ様
- 豊町五丁目 森谷ミツエ様、岩波信乃様
- 戸越六丁目 広瀬ひろ子様、酒井レイ子様

十一月二十日にご奉仕なされた方々のご芳名

- 豊町五丁目 皆川アイ子様、磯 康江様
- 二葉四丁目 福村信子様、中村タミ子様
- 二葉三丁目 渋井ミツ様、中島チエ様
- 豊町六丁目 細田良子様、平沼智子様
- 戸越六丁目 長倉康子様、角木千鶴子様

十二月十日にご奉仕なされた方々のご芳名

- 二葉三丁目 山岸勝代様、小林栄子様
- 豊町六丁目 鈴木みつ子様、藤沢喜美子様
- 豊町五丁目 森谷ミツエ様、岩波信乃様
- 二葉四丁目 荒木綾子様
- 戸越六丁目 酒井レイ子様、広瀬ひろ子様



落ち葉の季節になると、近隣の皆様にも境内清掃奉仕を頂いております。皆様方のご好意により、常に境内が清浄に保たれていること厚く心より感謝申し上げます。

宮司

## 月次祭

毎月一日午前七時より、その月の氏子の皆様の家内安全を祈る月次祭を行っております。

参加者全員で「大祓詞」を奉唱し、社務所において「朝粥」を食し歓談いたします。

★十一月一日に参列なさった方々のご芳名

- 草柳洋一様、磯 昭夫様、高須みちよ様、
- 青柳富子様、富田登美子様、櫻井崇博様、
- 井淵良子様、菅澤恵美様、濱田一巳様、
- 野秋くに様、谷川 寛様、川井善則様、
- 吉田あつみ様、桑子純子様、桑子直也様、
- 石渡信行様、千葉信昭様、佐藤武利様、
- 川瀬次夫様、工藤秋光様、齊藤徳之進様、
- 齊藤雪乃様

★十二月一日に参列なさった方々のご芳名

- 草柳洋一様、高須みちよ様、野秋くに様、
- 菅澤恵美様、富田登美子様、青柳富子様、
- 吉田あつみ様、千葉信昭様、井淵良子様、
- 柴田よし子様、川瀬次夫様、工藤秋光様、
- 齊藤徳之進様、齊藤雪乃様



## 正月飾りいろいろ

正月とは、古来より年始めに、一年間家をお守りいただく年神様を我が家にお迎えする大切な行事です。

年神様は一年の幸せと実りをもたらすための新年の神様です。正月に飾る門松は、お迎えする年神様の依代(よりしろ)と考えられ、神様を迎える準備が出来ていると知らせるものと考えられています。そして、しめ縄は清浄な世界と俗世との境界線を示すものとされています。ここから先は、神様を祀る神聖な場所であり災厄をもたらすものを食い止める縄張りの役目もしています。

また、鏡餅は、山から降りてこられた年神様を家を迎えお座り頂くもの。地域によっては鏡餅のことを「おすわり餅」と呼ぶそうです。

こうして、古来より続く正月文化は、神々に感謝し無事一年を過ごすことができるようにと、願う思いから生まれたものなのです。

## 正月飾りお焚上げ

一月十五日に正月飾りのお焚上げを致します。

一月十四日までに神社にお持ち下さい。

## 天祖神社々務所

東京都品川区二葉四一四一十二

TEL 〇三(三七八二)一七一

http://www.蛇窪.jp